

白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1895回例会 | 令和8年4月2日
12:30～13:30



創立40周年

○ソング

- 君が代
- 奉仕の理想

○スマイルBOX

- 藤田龍文会長（本日は、PELS報告会、青木会長エレクト、ありがとうございました。記念コンペまであと3日、式典まであと9日、かわらず会員皆様の御協力よろしくお願いします。）
- 運天直人幹事（青木エレクトありがとうございました。いよいよ周年まで2週間となりました。本年度のメインイベントですので皆様どうぞよろしくお願い致します。）
- 十字光伸会員（本日は誕生祝いありがとうございました。）
- 大住由香里会員（誕生日のお祝いありがとうございます。53才を大切に過ごしていけるよう頑張ります。）
- 櫻岡俊之会員（結婚記念日の祝いありがとうございました。）
- 関谷亮一会員（いよいよ白河にも桜前線がやって参りました。桜の中での40周年うれしいですね。周年うれしいですね。本日誕生祝を頂きありがとうございます。）
- 緑川直人会員（誕生日のお祝いありがとうございます。これからもゆっくりと年を重ねていければと思っております。）
- 瀬谷隆志会員（結婚のお祝いありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。）
- 沼田重一会員（先月29日、結婚記念日でおいしい野菜ありがとうございました。妻は届いた日、満面の笑みで優しくしてくれました。その1日だけの幸せにスマイルします。）
- 齋藤愛会員（少しの間、お休みをいただいております。今月より心機一転、どうぞよろしくお願い致します。）
- 遠藤敦会員（青木大、会長エレクト研修報告卓話有難う御座いました。参考になりました。）
- 金田昇会員（地区3大セミナーの会長エレクトラーニングセミナークラブ皆様にお世話になり無事終了できました。ありがとうございました。）

▶第1895回例会出席状況 (R8年4月2日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	18名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	17
Ⓓ 全正会員数	75名
Ⓒ ①の出席者数	31名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	12名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	43名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	70
① = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	61.4%

本日のプログラム

■会長の時間

藤田龍文会長



皆さん、こんにちは。いよいよ新年度となりまして、4月の大変ですね慌ただしい中、またお集まりいただきまして誠にありがとうございます。新年度ということでちょっと調べてきましたが、ロータリーの年度は7月から6月ということで入会当初ですね、とても不思議な区切りだなと思っておりましたがちょっと調べてみますと、ロータリーこの7月6月の年度の区切りというのは設立当初はロータリーが発足当初は決まっていなかったということです。そして1971年、約50年前ぐらいに設立当初からおこなった世界大会というのが常に6月だったそうです。それでいろいろな事を決めてたということで、それでちゃんと決めましょうということで1971年にロータリーの年度が7月から6月というふうに決まってきたそうです。まあちょっと豆知識で、頭に入れていただければと思います。本日例会はですね、会長エレクトの研修報告会ということで、3月28、29日で最近ではPELSセミナーと言うらしいんですが、そちらのほうで青木会長エレクトが受講してまいりましたので、そちらのほう今日は一日、次年度の方向性をいろいろお知らせ願えるかと思います。そして、このPELSセミナーに関しましては次年度金田ガバナー輩出ということもありまして、金田ガバナーのほうも講師というか先導役の筆頭としていろいろお話をいただきましたし、矢田部会員をはじめですね、多くの会員の方が当時のセミナーのお手伝い行っていたということ、心より感謝申し上げます。皆さんに本日お知らせする話題が二つありまして、一つは企業会員でもありました鈴木満会員がですね、3月31日付けでお務めの会社を退社されたということもありまして、企業会員ということなので連動して退会ということの届けを受けました。その他ですね、先日当クラブの佐川京子会員のご主人様が4月1日にご逝去されたということです。今週の4月4日がお通夜。4月5日が告別式という日程となっておりますので、先日のことですのでまだお知らせ等流れてないかもしれませんが、今週末がお通夜、告別式という日程となっております。先程の鈴木満会員の退会も3月31日付で受理ということになりましたので、現在の会員数は75名ということになります。今週末の記念コンペや式典に関しましては、出欠を皆さんに回させていただいて、記念式典のほう約9割近い会員のご参加いただきますことを心より感謝申し上げます。その他ですね、今年度式典に向けていろいろう合わせがございますので、その辺も例会前後含めていろいろ皆さんでまた煮詰めていただければと思いますし、来週の例会は決起大会という名前のもとで、最終の連絡を皆さんにお伝えするという形になると思います。名前は決起大会ですが、先程もちょっとご質問されたんですが通常の例会となります。飲み例会ではございませんので、通常の例会となりますが皆さんに最後のいろいろな部分をお伝えする例会になるかと思いますので是非よろしく願いいたします。それでは本日、報告会ということでよろしく願いいたします。

■幹事報告 運天直人幹事

- 米山記念奨学会理事長 若林紀男 事務局長 峯純子：奨学生の世話依頼について
- 泉田ガバナー事務所：財団室NEWS2026年4月号
- ORLI日本支部委員長：2025年手続き要覧 印刷出版の誤案内
- 白河ユネスコ協会会長 小野利廣：「福島県のユネスコ」第44号及び「ユネスコしらかわ」第324号について（送付）
- 米山梅吉記念館理事長 松村友吉：賛助会ご入会のお祝い
- (株)生駒時計店：CATALOGUE 2026-2027

■各委員会報告

●次年度青少年委員会

大竹憂子会員



皆さん、こんにちは。今年度はわたくし国際奉仕委員会のほうなんですが、交換留学生について担当となっておりますので、交換留学生の今までの結果報告的なものをさせていただきたいと思います。交換留学生来るのが決まりまして、台湾の方でティン・ジョンウさんという16歳、高校1年生が来ることになりました。女の子ですので受け入れ先の家族、これを募集を皆さんにかけて是非受け入れていただける方をお願いしたいと思っています。というのは、ホストファミリーになるのを最低でも3カ所ぐらい確保したいということがありまして、できれば一番理想なのは同じぐらいの女の子がいるご家庭。これが一番理想ではありますが、なかなかそこは難しい点もあるかと思いますので、うちみていいよという方がいらっしゃったら是非ご協力をいただきたいと思います。一年間でまず3か月から4か月ぐらいが一つのファミリーが引き受けるような感じで、少なくとも3家族は欲しいというふうな地区からの説明もありましたので、できれば私の理想としては4カ所5カ所ぐらい挙げるとして3カ所ぐらいでとどまる。それぐらいが理想なのかと思っております。本人の家庭環境に慣れるかどうかという点もございますので、そこはもしどうしても合わない場合は別なご家庭にお願いできるような形を今の段階で取っておきたいと思っていますのでお願いいたします。それとこれは実は3月4月で全部決めてしまわなければいけないことだったんですが、相手方がなかなか決まらなかったもので2～3日前にようやくその台湾ということが決まりまして、台中からいらっしゃるそのティン・ジョンウさんという方が決まりましたという報告がありましたので、急遽急ぎなんですが今月中には必ずホストファミリー。それから、カウンセラーはもうお願いして決まっているのでどうにかなるかと思うんですが、まずはホストファミリーをできれば20日ぐらいまでには決めて提出したいと思っていますので、皆さん是非ご協力の程をよろしく願いいたします。うち引き受けてもいいよという方がいらっしゃったら、是非大竹のほうまで一声おかけいただけるとありがたいと思いますので、申し訳ありません、時間がないということもありますので、是非皆さんご健闘をお願いいたします。それからですね、それと伴って以前クリスマス例会の時にちょっと何人かに

お願いと書いていただいたりしたんですが、青少年ボランティア誓約書、これを書いていただくのに青少年ボランティア、これに関しては例えばその留学生の子がこちらに来ている期間にどこかへ連れてくとか、例えば例会に連れてくる、または送っていく、そういった時に同行する方。これを一定の方に決めてしまうと、なかなかやっぱ動きがしづらい。また、イベントなんかあった時にお連れしていただくとか、そういうことも日程的に決めた方では難しい場合もありますので、できるだけ会員の皆さん、ほとんどの皆さんからこのボランティア誓約書というものを書いていただきたいと思います。事前にクリスマス例会で書いていただいたものに関しては、ちょっと書き方がやっぱ駄目だったということで改めて書かなければいけないということがありまして、ある程度書類を作りましてサインをいただくだけで済むようにしたいと思います。また、この誓約書とか交換留学生の書類関係すべてなんですけど、サインをする場合青いペンでないといけないという注意点がございますので、青いペンも準備しておりますのでペンと一緒にお渡ししますので、是非後程ご記入いただけるように準備したいと思います。これも4月いっぱいには提出しなければいけない書類なので、皆さん急がせて申し訳ありませんがご協力是非よろしく願いいたします。以上ですね。とりあえず、今のところ急ぎ決まった点として皆さんに報告できるのは以上でございます。では皆さん、ご協力本当によろしく願いいたします。

●雑誌広報渉外委員会

緑川直人副委員長



皆さん、こんにちは。雑誌広報委員会より、今月の『ロータリーの友』4月号の読みどころをご説明させていただきます。まず、横書きの5ページ目からになるんですけども、これが「日本から世界へ 未来の地球に贈る希望の種」ということで、新潟西ロータリークラブさんがこれ世界に広げたという、日本が発祥として広げたという運動を今2022年から長期の計画としてやっておられます。タイのロータリーさんの学友から一通のメールが来たことがきっかけで、こういった大きな長いスパンのこういう事業をされてるということです。その人と人の繋がりというのは素晴らしいと感じました。ポリオウィルスによる症例数なんですけども、2026年は今のところすべてゼロになっております。これも皆様のご協力のおかげだと思います。引き続きこの運動で頑張っていきたいと思います。続きまして縦書きのほうに移りまして、開いていただくと一番最初の特集で、女子プロレスラー長与千種さんの一文というかこちらが書いてあるんですけども、ご苦労されて女子プロレスラーになりました。今は育てられてきたものを育てる立場、育てる立場から経営というそちらのほうにまで今やられているそうでご苦労されて今があると、どんどんご苦労されてることはいいのかなと思いますので、こういったことを読んでいただければ勉強になると思います。以上でございます。

●三大セミナー実行委員会

矢田部錦四郎委員長



皆さん、こんにちは。先日の会長エレクトラニングセミナーお手伝いをいただいた方、本当にありがとうございました。なんとか無事にちらほらとあちこちにミスはあったのですが、皆さん喜んで帰っていただきました。本当にありがとうございました。それと今度5月17日にですね、磐梯熱海温泉「華の湯」で約600か700名、2530地区の地区の役員、そして各クラブの役員、会員の皆様参加で盛大に研修会がおこなわれます。この時は実行委員会のメンバーと、あとそこに参加するメンバー沢山いると思うんですね。いろんな当日の用事があると思うんです。特にお出迎え、それと駐車場係も500台から600台の車を整理しなきゃならない案内しなきゃならないという部分もあるので、想定外のこと沢山あると思うんですが、できるだけ多くのメンバーでこの三大研修の最後を乗り切っていきたいと思います。そして、金田年度をしっかりと盛り上げるような雰囲気を作ってですね、今年の三大研修を締めくくっていきたいと思いますので、皆さんのご協力よろしく願いたいと思います。以上です。

●親睦活動委員会

十文字宗博委員長

結婚記念日

成井正之会員、宮本多可夫会員、居川孝男会員、佐藤幸彦会員、櫻岡敏之会員、島田修一会員、中嶋一貴会員、瀬谷隆志会員、渡辺道直会員、十文字俊之会員

誕生日

関谷亮一会員、宮本多可夫会員、鳴島三夫会員、高田久美子会員、十文字光伸会員、緑川直人会員、大住由香里会員、上杉謙太郎会員、服部博幸会員



今月4月23日におこなわれます観桜会のご案内だったんですけども、出欠16日までに申し込んでいただきたということだったんですけども、本日ご参会の皆様にはこれからこちら回しますので○×付けていただければと思います。

■本日のプログラム

●会長エレクト研修報告会

青木大会長エレクト



会長エレクトラニングセミナーの報告をさせていただきますと思います。昔はPETSと呼んでたらしいですが、今は名前が変わりましてPELSですね。来年、金田ガバナーが輩出することになるので、この地区研修会ですね、その金田ガバナーの思いのもと開催をされてます。2月には来

年の地区役員の1回目の勉強会がありまして、今回は地区の中の各会長ですね。そのロータリーの会長になられる方が集まった勉強会というのを今回開催をしました。5月には今度は各クラブの委員長の方達向けにまた研修会があるということで、これがこの地区の三大セミナーと言われる事業だというのが今回受講してみても初めて知ったようなことが沢山ありました。その会長エレクト向けの勉強会の報告をさせていただければと思います。まず初めに、金田ガバナー予定者が話をされて来年の会長のいろいろ勉強をさせていただきまして「八幡屋」のほうに10時集合で10時半から開始だったんですが、僕はもう10時開始だと思って急いで行ったら着いたのが9時55分で、うわぁざりざりだなと思って着いたらまだあんまり人が多くなくてこれから受付ですよみたいな感じがわけですね。それ以上に、白河西ロータリークラブのメンバーが沢山いて、そっちのほうがびびりまして、すいません僕何もなくて何も知らなくて事前のお手伝いもせずにのうのうとこの時間に着いて申し訳ありませんでしたといううなぐらい、駐車場でお迎えをしていたり、受付にいたり、会場までの誘導をしていたりと。山口SAAが会場はこちらですと案内している姿を見て非常に感動させていただきました。あなた、ここでまた報告会あるんだからいっぱい喋れるように学んできなさいみたい事を言われてそんなスタートを切りました。その中で、まず金田さんが1月11日から15日にフロリダのオーランドのほうでRI会長とのセミナーというんですかね。研修会に参加した話をされておりました。会場はこんな雰囲気だよといううなところと、これは日本のガバナーの人たちが一堂に会して写真を撮られてるんですかね。来年の会長はといいますと、このオンラインカ・ハキム・ババラさんという方が来年のRI会長ということになります。こちらの方はアフリカの方で石油関係の仕事をしているということです。この人もなるまでにはローターアクトとかも経験されて会長になられたということで、まずはロータリーに入るにあたって少し紆余曲折というものがあつたらしいです。まずは、来年の会長メッセージとしては「持続可能なインパクトを生み出そう」というようなスローガンのもと「Create Lasting Impact」ということで、来年はこのスローガンのもと一年間活動していくという形になります。そして、エンドポリオということでこちらのミッションも残りの1パーセントをしっかりとクリアをして根絶していこうという動きになってるんですね。その中で話を聞いてて、このRI会長の思い出、入会にいたるまでの話をお聞きすることがありました。この方がロータリーに入る時にローターアクトとして所属していたのでロータリーに入会しようとした時に、まずこういう会場に参加したそうです。その時のクラブの中では、招待を受けてないでしょうみたいな、その時のクラブの会長がここで何をしてるんだというような事を言って自分はロータリーの入会するために来てるんだっていう話でした。そこから、その会長はあなたには入会する権利ないですよ、招待が必要ですよというような話をしたということです。ただ、ローターアクトを経験してるのでその会長は子供が親の家に入るのに招待状が必要とは知りませんでしたというような話をしたということです。もちろんローターアクトということは、その下部組織なわけですからそこに所属してる人がロータリーに入るのにそれほど必要ななんというんですかね、許可が

必要なかと思うのも当たり前になります。そんなことを言った時に、別な会員から私があなただの推薦人になりますよというような話があつてロータリーに入れたというような話でした。それだけやっぱり、ロータリーに入るには推薦人というのが結構重要なんだなというのを改めて感じるような話でした。出席の義務だとか、いろいろ例会とかいろいろなところで結構言われると思うんですけど、そこをしっかりとフォローしていくのが推薦人の仕事であるでしょうし、今ロータリーに入会してから辞められる方の多くの方が3年以内の方が多いそうです。100人入れても微増とか減ってくということは辞められてく方が多いですね。もちろん、高齢になって辞められる方ももちろんいるんですけど、それ以上には入って半年とか1年ぐらいの期間に辞めていかれる方が非常に多いというような話を聞きました。地区目標としては、来年100人の純増を目指すということでもあります。この白河西ロータリークラブの目標は県南地区で13名で、西は3名純増が一つの目標なんですけど、その中でも女性会員は会員比率の10%を目指しましょうといううなところが当クラブでは与えられてるうなところでもあります。ただ、今回みたいに減してしまうと純増したら3ではきかなくて多分5から6ぐらいを入会させていく必要があるのかなと思います。3月の時点でメンバーが亡くなれたり、いろいろしてますので最低でもやっぱり80人ぐらいを目標に拡大をしていきたいと思っております。ロータリーの体験がその時には必要なんだよという、活動するにあたって活動の価値を見いだせないから辞めていかれる退会してしまうんだ。なので、その3年間をしっかりとフォローしてあげる。ロータリーに所属している価値を見だしてあげることが必要なんだといううな話をしておりました。ここであがってきてるのは一人はこのコロナのパンデミックの時に旦那さんが亡くなってしまって悲しみの中にいる中、ロータリーから奥さんのほうに是非参加してくださいということで居場所を作ってもらえたといううな話で、やっぱりロータリーはいいものなんだということで改めて価値を感じたという話があります。なので、今ここに出てきてる皆さん方はロータリーに関して価値を見だしてる人達ですね。ただ、参加してない方も同じく半分ぐらいいいと思うんですけども、そういった方達にしっかりと活動の良さを感じてもらうきっかけを作るというのがこれから必要なことなのではないのかなといううに私は感じております。これが金田ガバナーを前にして僕が説明するようなことでもないと思うんですが、来年の地区のスローガンになります。「連携と連帯で持続可能なインパクトを生み出そう」というスローガンのもと一年間活動してく、まあ活動はスタートしてるんですが、こういった連携と連帯というところを強



調して活動していくという形になっております。すべてはクラブ活性化のためにということで、いろんなクラブが本当に県内にはあります。少ないところだと10人を切ってるクラブもありますし、私達みたいな80人近いクラブ、一律に扱うということはないにしてもその自分達ができないような部分を協力して活動していくところで、その近隣のクラブとも連携そして連帯を組みながら活動を後押ししていきましょうということを挙げております。西クラブでいえば今度観桜会。矢吹ロータリークラブさんとやりますけど、これは連携ですよ。そこに本当に連帯まであるのかというところも実際に問われているようなところがあります。連帯はじゃあ何をしていくのかといったら、やはりもう少し事業を掘り下げて一緒に何か活動もですね、連帯を組みながらできるような、例会だけじゃなくてその先に繋がるような活動もできたらというふうに、この連帯という言葉の中から感じさせていただきました。来年度は米山の奨学生も受け入れますし、交換留学生の子も受け入れをさせていただきます。そういった意味では、皆さんの協力もなければ進んでいきませんし、ましてや交換留学生にあたっては学校が石川という部分もありますので、そういった他の県南のロータリークラブとも連帯を組みながら活動できたらというふうに思っております。クラブ増強はなんでしていくのかということは、入会者の意識を変えて成長に繋げていくことを組み入れながらやってきましょうということでもあります。この辺は後でまたゆっくり話ができたらと思います。中では金田さんからいただいたネクタイを今日してきたんですけど、会長エレクトのみんなにネクタイとバッチと配られて、みんなでやっぱり同じ方向を向いていきましょうという意識を植え付けるためにも揃えた物をしていくことだと思いますので、再来週の周年には同じようなものを付けてやるでしょうから、そこも西クラブとして一つの同じ方向を向くためには必要なものが会長から、あっ欒ですね。新しい欒を付けてみんなでお出迎えしましょうということなので、そんなこともやりたいなと思っております。それと、マイロータリーというのを登録はもう皆さんされてると思うんですけど、なかなかログインする機会って少ないですよ。今回は世界大会の登録であつたりとか、いろいろところでログインした方少しいると思うんですけど。その中でこういった戦略、計画、プロセスとか、クラブ目標とか、いろんなものを登録できるような形になってきてます。ですので、紙ベースの資料からどんどんそういったデジタルベースのものに変わってくて思いますので、皆さん方もマイロータリーを是非、月に一回ぐらいはログインしてみたらいいんじゃないのかなと、新しい情報が載ってたりすると思います。その後はロータリーの変革というような話を貴重なお話を聞かせていただいたり、会長の役割と責務というような厳しいお題のもと、なんか怒られてるのか何されてるのかわからないようなお話もいただいたり未来の話も出てきたりしましたし、それ以上に一番なんていうんですかね。山形県の寒河江ロータリークラブのガバナーを経験された、2017年から2018年に経験された方が、基調講演をしていただけたんですね。非常に良い話という一言ですとちょっと失礼なくらい、今ちょっと簡単に言っちゃいましたけど。素晴らしい真のロータリアンを育ててくにはみたいところからこの経験談を話されて、それほど大きいクラブではないけど、すべてのメン

バーがそのガバナーに協力をしてもらって支援をしていたという話でした。多分来年度のIMは東白川さんのほうで多分主幹してやると思うんですけども、その時に話してもらいたくない話をしてたので、ちょっと同じ話ができるわけじゃないのでその時にこの2年3年5年後というふうにしてやるのかというのとか、あとはもともとやっぱりクラブができた時の話からじゃあどう考えるのかみたいな、考え方みたいな話を聞いたのが非常に自分の中では為になったなというふうに思っております。こういったこの話なんですけど、人を入れてっても辞めたら意味がないよねと。穴の開いたバケツに水を注ぎ続けますか。それは増やすという意味にはなかなかならないですよ。あと、その辞めたら人がやっぱり価値ないよねって言われたら公共イメージというか、そのクラブのイメージが上がりませんかみたいな。なので、しっかりとフォローしていきましょうねみたいな話だったというふうに思います。すごくいい話だと思ったんですけど、なんかここで喋ろうと出てこないのも一つになって。多分皆さん方には直接聞いてもらいたいなと思って僕らの心の中で思ってるので言葉にならないと思うんですけど、クラブ奉仕とは何でしょうか。クラブ奉仕というのはどこに主語があるんですかねみたいな。会員なんですか、それともクラブなんですかみたいな話とか。その辺はやっぱりさうとこう見ながら感じてもらえたらさわりでわかりますので、是非とも2月の時に聞いてもらいたいなと思っております。その手続き要覧とかいろいろなもの、やっぱりしっかりと読み込んでいくとそこに書いてあると。なんだったらやっぱり原文を読むというのが必要だったりするっていうふうに言ってます。それは寛容とか奉仕とか、その訳し方によって全然違ってきて、やっぱり原文を一回見るというのは結構大切だと思います。これは青年会議所というJCのほうでもやっぱり原文とその和訳は乖離があって、その受け止め方というか訳した年代とか人によっても言葉って変わるので、しっかりとそこを両方読めたらいいものになるんだと。このクラブ目標に関して、1927年にできたものからどんどんと更新はされてる訳ですね。なので、職業分類はなくなったわけではないけど職業分類としては規制がなくなっただけで、分類はするんですよという話をされたり。だから、単純に職業分類はやっぱりちゃんとクラブとして入会する時には付けますよね。なので、そういったところは残しつつも、その一業種一者ではなくなったりとかしてるから変わってきてる部分と元々の部分としっかりと考えていきましょうというような話もされてました。クラブ会員がクラブに対して果たす義務とか、クラブがクラブ会員に対して果たす責任と、いろいろありますよという。クラブ奉仕というのはこういったとこに書いてありますよ。このクラブ会員はクラブの中でロータリアンとして成長、発展しなくてはならないですよ。自分自身の向上のみならず他の会員の向上も、そしてクラブの成長発展にも貢献することが必要です。クラブは会員の成長、発展を促し、援助しなければならぬ。そういった役割を持ちながらやるのでやってくださいというふうに言われました。2時間ぐらい話を聞いてた内容を10分とかで喋るような事じゃないんですけど是非とも『マイロータリー』なんか読んでみたらいいと思います。この鈴木さんが言ってたのは、やはりまた例会に参加したくなるような例会をしっかりとやるのが大切なんですよというよ

うなことを言っていました。会長は会長として命を削りながらスピーチをしてくださいということを言っていました。会長、命を削るスピーチが必要だそうです。そんな話を聞かされてなかなかハードル上がったなみたいなことを聞いてたんですけど、少しでも参加して良かったなと思えるような例会を作ってくというのはやっぱりクラブの活動の根幹であると思いますし、参加して楽しくなければ意味がなかったり、そこに価値を見いだせないようであれば、やっぱり長続きがしないというふうに思っています。いろんな役割を与えられたからこそ出てくるタイミングもあると思いますので、いろんな人たちがいろんな役割をしっかりと担ってもらいたいというふうに私は来年思ってますし、来年はガバナー出ますので物凄く役割いっぱいありますから、役割がなくてつまらないということはありませんので、しっかりと協力をしてお力をお借りして皆さんと共に成長できるような一年にしたいというふうに思っております。この中で会員増強もそうなんですけど、地区のほうでは地区大会が赤字になってしまったということの報告もありました。これからのいろんな物価高だったり円安になってるとこもあるので、世界のお金はドルで払いますから円安だといっぱい払わなくちゃいけないんですね。いっぱい払わなくちゃいけないということは、いっぱいクラブのお金も無くなるんです。3年間は特別会費で補いましょうとしてますけど、でも近い将来やっぱりクラブの年会費も上げてく必要があるというふうに僕は思います。クラブの年会費を上げるのか、それとも昼食代を取って昼食に充ててる費用をクラブの運営費に回すのかみたいなところは話をしていく必要あると思いますけど、そういったところもあんまり先延ばしにせずに会費なんか僕らは月2万円ぐらいにして24万ぐらい、ちょっと極端ですかね。6万は極端だとすれば、毎年段階的に2万円ぐらいづつ上げていって3年ぐらいで24万ぐらいにするとかっていうような考え方を少し総会か何かの時に提案をさせていただきたいなと思っております。他の皆さん方にもご協力をいただきながら、来年は運営をしっかりとしていきたいと思いますし、価値あるものを提供するためにもそういったところのお金の部分も是非ともご協力いただきたいと思えます。それと、さっきの青少年交換留学生の費用もクラブとして100万ぐらい多分持ち出さなくちゃいけない形になりますので、そういった費用の捻出も考えると、どこかで何かしらの手当てをさせていただきたいと思っておりますので、それもご協力の程をよろしくお願ひしたいと思ひます。話がいろいろ飛び飛びになって会長エレクトセミナーの報告になったかわかりませんが、そういった思ひのもと来年はやらせていただきたいと思ひますので、これをもって報告に変えさせていただきます。どうもありがとうございました。

●金田昇ガバナーエレクト



青木会長エレクト、ありがとうございます。難しい内容沢山あったんですけど、かいつまんで上手にお話いただけたかなというふうに思います。それと会長エレクトセミナー、非常に皆さんのご協力により何とか終わすことができました。三大セミナーだんだん人数が多くなってきて、この次は500名を超えるようなクラブリーダーニングセミナーということです。トレーニングセミナーからラーニングセミナーということで、TからLになったというふうなことです。のでご了承くださいと思います。それと次回またクラブリーダーニングセミナーに皆さんのお力添えをいただきながらしっかりとやっていきたいなと思ひます。三大セミナー、一発目二発目、自分としては納得できたような内容ではなかった。もっともっと反省しなくちゃならないところも沢山ありました。会場でもお話をさせていただきましたが、会長エレクトの勉強会でありましたが一番勉強できたのは自分なのかなというふうに思ひますし、皆さん面倒なところであれですけど誰かに話を教えてるつもりが、本当は自分が教えられてるというような体験というのは沢山あると思ひます。私もそんな経験をさせていただきました。ただ、この次の地区協議会にはそんなこと言てられませんので、しっかりと地区を引っ張ってけるようなお話と設営をしていきたいなというふうに思ひます。今日の青木エレクトのお話を聞きまして、次年度の白河西ロータリークラブの姿が見えてきたのかなというふうに思ひますし、今年も楽しい例会ですが、来年も楽しい例会とクラブの運営ができることを楽しみにしております。それと、最後にどうしても言いたかったことちゃんと言ていただきました。お金のことです。みんな苦勞してます。地区の方達集まると、どうしようどうしようというお話させていただきましたが、それを敢えて今までずっと誰も言わなかったんですけど、今年お前言うてくれということで最後に言わせてもらって問題提起したことをちゃんとお話していただけた。多分、他のクラブもそういうことで次の年、将来に向けての準備を進めていただけるのかなというふうに思ひました。ありがとうございます。お礼の言葉とさせていただきますと同時に、地区協議会に向けてご協力をお願いしまして、私からのお礼とさせていただきます。ありがとうございます。

